

寺
ごよみ

四 月

一日 お講・下村
七日 雪ん子劇団新学期
八日 お釈迦様の誕生日
お寺の学校・花の会

一日 太子会・お花見
一六日 お講・栗虫
一七日 十七夜お経会

慶びの春 花の誕生会

二六日 花摘み・花飾り
二七日 花の初参り

親鸞さま、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、そしてこども達の誕生をよろこぶ法会です。赤ちゃんの初参式を行います。

申し込み 四月二十日まで
受式懇志 三千円

寺 報

善 巧

発 行
〒 938 富山県下新川郡
宇奈月町浦山 497
白雪山 善 巧 寺
T E L (0765) 65-0055
F A X (0765) 65-0975

第21回

慶びの春 花の誕生会

四月二十七日午前十時

初参式、チューリップ、縁日。
家族そろってお参り下さい。



『蓮如上人御一期記』に、次のような話が収録されています。それは蓮如上人の晩年、山科本願寺での出来事です。

あるとき、遠国からたくさんのお客が参詣をしてきました。そのころは応仁の乱はどうにか終結していましたが、全国各地で小競り合いが続いており、大変危険な状況でした。そうした戦乱の渦中を乗り越えて上京してきたのは、我が身の後生の助かるおいわれを聞くためであつたに違いないといふので、上人は、自らお御堂へお出ましになり、道中の苦勞をねぎらつて一座のご法話をされました。

お話が終わつた後、集まつていた三百人あまりの同行を見回しながら上人は、「この中に本當に信心決定して往生を遂げることの出来るものは、一人あるだろうか、二人あるだろうか」とおおせになりました。人々は驚いて、互いに顔を見合せておりました。

そのとき、一人の人が進み出て、自身の領解を申し上げ、「私はこのように決定の信心を頂いております。この中にも五

一人か二人か

人や十人は決定の信心を得ている人がきつと思ひます。それを、一人か、二人かなどと仰せられるのは納得がいきません」

と上人に抗議しました。すると上人は、

「自余の面々にかかりごと無用なり。一人か、二人かといはば、汝、その一人になりて往生を遂ぐべきなり。」

と仰せられたということです。

「わたしが、まことの信心を得て往生できるものは、一人あるだろうか、二人あるだろうかといったとき、あたりをみまわしてどの人と、どの人がそれであらうかなど、他の人をさがしまわることがそもそも間違いである。私がその一人である、おかげさまでお救いにあずかりましたと領解すればいいことである」といふのです。それを聞いて、みな今更のように驚き、有り難く感嘆したということです。まことに如来の慈悲は、今ここにいて私一人に凝集しているのです。

本願寺派勸学 梯 實圓師



空華忌講話

利井明弘先生

その一

(平成八年十一月五日)

弥陀の尊号となへつつ

信楽まことにうるひとは

憶年の心常にして

仏恩報ずるおもひあり

五濁悪世の有情の

選択本願信すれば

不可称不可思議の

功德は行者の身にみえり

僧鎔和上の和讃法規を中心に、

正像末和讃の五十六億七千万と
いうところから、六首、この在



家報恩講に称えるようにみなさんのお経本にも抜き出してあると思います。その抜き出してあるところをお話しさせていただきます。この五首目と六首目の二つのご和讃があまり僧鎔和上は触れておられないんですけれども、非常に特徴のある大切なご和讃なんです。なぜかと申しますと、この和讃は浄土和讃の冠頭讃と申しまして、浄土和讃全体をこの一首でうたっているんですよ。そして次の「五濁悪世の有情の 選択本願信すれば 不可称不可説不可思議の功德は行者の身にみえり」というのは、高僧和讃の結びの和讃になるんですよ。

実は「五十六億」からこの最後の「五濁悪世の有情の選択

本願信すれば」というところまでこの六首は、ある意味でこれだけで三帖和讃になる。「五十六億七千万」が正像末和讃として「弥陀の尊号称えつつ」これが浄土和讃、そして「五濁悪世の有情の」というのが高僧和讃だと。たった六首で全部三帖和讃全体をうたつてあると味わってもいいぐらいなんです。僧鎔和上のお示しによれば、御恩報謝の意味でうたわれたのがこの「仏恩報ずる思いあり」だということです。

で、一番最初の浄土和讃の冠頭讃の「まことの信心うるひとは このたびさとりをひらくべし」のまことの信心は、「信楽まことにうる人は」と全く重なっていますね。

そうするとこういうことなんです。この信心いただいたその時にすべての利益をいただくのが他力の念仏。信の一念といいますね。いただいておりますかと思うその以前に届いております。空華で言う言葉ですが、「ああ辛^{あつ}と言うは後なりとんがらし」。ああ辛いと言った時はすでに唐辛子は口に入るとるつて言うんですよ。「南無阿弥陀仏」と言う前に届くという、分かりますね。だから信の一念に利益をすべていただいております。

そうするとありがたいなと思うことも、一口「南無阿弥陀仏」と称名、声に出す。これはもう全部信心いただいた後の念仏でしよ。今からいただくんじやない。これが御恩報謝の念仏なんです。今から称えたらもうちょっと良いところに行くとかいうもんじやない。もう全部信の一念でいただいちゃまっている。そうすると、これは乃至十念とこの十八願には誓ってありますが、一辺よりも二辺、二辺よりも三辺、今ね阿弥陀経を読んだよね。あそこで「若一日若二日若三日」ってあったでしょ。あれ順次にこだわる人はね一日より二日、二日より三日、三日より七日の方が効くやろうと思う。数多く言った方がいい所に行けるやろうと思うわけですよ。ところが他力の念仏は違うんですよ。七日でも六日も一日でもかまわないということ、十辺称えるのも一辺称えるのも、いや信心いただくというところまでおさまっていくというのが他力の念仏です。

第十八願に「至心信楽欲生我國乃至十念」とありますね。口から称える念仏は御恩報謝の念仏、称名ですから、称名報恩といえますね。この法蔵菩薩が第十八願をお立てになる時に、信

心一つで救うぞ、御恩報謝には念仏を称えなさいよと「乃至十念」とつけられているでしょ。実は行儀を知らん者には行儀を教えなければならぬというのが空華の教えなんです。あそこ「乃至十念」と誓ってあるのは、どうしたら御恩報謝になるのか知らん者に対して、ご信心いただいたら念仏するんだぞというのを教えてあるんですよ。ね。この本堂やらあちこちで念仏が少なくなりましたけどね、御恩報謝するのは念仏しかないんですよ。

一昨年、ご本山の西大谷の本廟、お墓のある所ね、みなさん西大谷にお参りになったことあります。勧学谷にはこの僧鎔和上が一番奥に、三人おられる中の真ん中でちゃんと座っておられて、雪山家の墓は、その会説しておられる和上がたのお墓の一番前に門番みたいに建っている。あそこ西大谷の報恩講にお話に行つたんです。西大谷の報恩講っていったら、お説教の方が先にありましてね、その後、勤行が始まるんです。あそこ白州いっぱい、もう真ん中に椅子置いてその周りにずーっと立って囲んでいましたからね、あとで聞いたたら二千人位やうてましたが、「御恩報謝ですね、

お念仏ですね」と話し終わったら、みんなどーっと拍手よ。こんなご本山の中心でも御恩報謝のお行儀を知らん人が増えていくんです。もう一つ思ったのは、ほくのお説教が「ありがたいですね」という自分の喜びよりも、「どうや分かっただか」というお話になったんではないかと反省していったんですよ。お話の後、私も法要にあうことになって座ったんです。

そしたら、おねりが始まりましてね、お導師は前門さままでした。すると、さつき拍手してた人がみんな「南無阿弥陀仏」言いだした。やっぱり儀式はすごいなあと思った。

それでそのことをご本山から出してる雑誌に「前門さまの儀式は素晴らしい。しかしお説教の後に拍手は参った」と書いたんです。そしたらあるお坊さんが、拍手でもいいじゃないか、お前の話を聞いて感動して拍手してくれたんだから、お前が文句言うことがあるかって言うたので、ほくも言うたんです。浄土真宗のお話は私の話を聞いてもらうんじゃない、如来さまがこうおっしゃっているということ聞いてもらうんだ。おまけに感動したって何に感動したんやろう。あれは多分煩惱が感

動して拍手したんじゃないかと。

みなさんね、お説教でもそうですよ。時々聞いてみると、例え話だけ覚えて仏さんのお話のお言葉のところは何にも分からんというのがある。笑ったり泣いたりしてるところはどうやう。お念仏がありがたくて笑ったり泣いたりしてるのどううか。そう思うと「乃至十念」と「御恩報謝」はお念仏を称えることだとおっしゃってくださっているのは、本当にありがたいことです。それを聞かせていただいたからには、仏さまの御恩を思うたびにやっぱり念仏を称えるということが大切ですね。

「南無阿弥陀仏」、これも僧侶和上がおっしゃっている。

「南無阿弥陀仏」を称えると言うけれども、それはお礼の「南無阿弥陀仏」や。ありがとうございます。こんな私がお浄土へ参らせていただきます。南無阿弥陀仏、でしょ。それがそのまま私の耳に聞こえたらね、必ず救うぞという阿弥陀さまの声として「南無阿弥陀仏」と聞こえてくるんですよ。これをおっしゃったのも空華の念仏観です。私が称えてるまんまが、実は仏さまが私の耳に「必ず救うぞ」と呼びかけてくださっている声なん

だと言っているんです。だから「信樂まことにうる人は 憶念の心常にして 仏恩報ずるおもひあり、弥陀の尊号称えつつ」とひっきりかえして読むのがよしと僧侶和上はおっしゃっています。だから弥勒菩薩と等しい利益を得ている、そのご恩は信心、それをいただいたら、御恩報謝には「南無阿弥陀仏」お念仏を称えなさいよということなんです。



蓮如上人五百回遠忌法要 黒西組参拝日が 決まりました

★平成十年六月七日(日)

蓮如上人の五百回遠忌法要が来年、平成十年三月十四日から十一月十三日まで、百日にわたって勤められます。

法要期間中はさまざまなイベント、コンサートが開催されるほか、マルチメディアを駆使した展示や、国宝飛雲閣などの文化財への自由拝観も行われ、上人のご功績や、本願寺の歴史を堪能することができます。

善巧寺のおまいり日は六月七日(日)に決まりました。六月六日から三泊三日のご本山まいり。今から心がけておきましょう。

期 日

第1期	3月14日(土)～3月25日(水)	12日間
第2期	4月1日(水)～4月11日(土)	11日間
第3期	4月20日(月)～4月28日(火)	9日間
第4期	5月7日(木)～5月16日(土)	10日間
第5期	5月22日(金)～5月31日(日)	10日間
第6期	6月5日(金)～6月16日(火)	12日間
第7期	7月29日(水)～8月3日(月)	6日間
第8期	9月19日(土)～9月28日(月)	10日間
第9期	10月3日(土)～10月12日(月)	10日間
第10期	11月4日(水)～11月13日(金)	10日間

法要期日100日間のうち、家族単位の参拝日として8日間、教化団体ごとの参拝日として10日間、夏期(第7期)に児童・青少年を対象とした参拝日があります。

- (1) 家族単位の参拝日(上記表中の■印の日)は、「家族の日」として、法要日程・行事を開催いたします。
- (2) 教化団体ごとの参拝日(上記表中の■印の日)として、下記の参拝日を設定いたしております。

●少年・スカウト参拝	4月 3日	●全国仏社大会	5月 24日
●仏婦(海外)参拝の日	4月 9日	●全国布教使大会	6月 5日
●仏婦参拝の日	4月 11日	●全国保育大会	6月 14日
●全国講社大会	5月 11日	●全国真宗青年の集い	8月 2日
●園児の集い	5月 16日	●学生の日	8月 3日

- (3) 夏期(第7期)は、キャンペーンテーマ「環境」を軸に、児童・青少年を対象とした参拝日とし、法要・行事を開催いたします。

ご正忌へ ようこそのおまいり

1 / 13 ~ 16



成人式を迎えた雪ん子 O B G

ごまんさん荒れと言われる寒さの中のご正忌報恩講。今年も一月十三日から十六日まで勤修されました。昼の席にはおまいりできないけれど夜ならという方も含めて、たくさんさんの老若男女が参詣しました。

十五日お逮夜のお勤めが終りかける頃、鮮やかな振袖姿が一人、二人、背広姿が一人、二人...と十人の成人たちが本堂に入ってきて、仏さまに手を合わせました。八年前の雪ん子十周年に卒業した子供たちです。いのち



那須野先生を囲んで

をいただいたその時から、多くの方々に支えられて二十歳になることのできたことを、仏前に感謝しました。参詣の方々が涙と拍手でお祝いしてあたたかい成人式になりました。

この日のお初夜には、中学生、高校生も数人おまいりして、那須野先生の軽妙で深いお話を興味深くお聴聞しました。小さい時からお寺に遊びに来ている子供たちが、人生の節目に仏様にご挨拶をし、法話に感動する心をいただいています。



雪ん子

花の会

お経会

大学四年間には多くの手術、交通事故、祖父の死など本当にいろいろなことがありました。そんな中、大学生活の転機となった事があります。大学に入っていたアパートを引き払い、行信教校の寮を出る兄と、二人暮らしを始めたのです。その頃、僕はアメリカンフットボール部に所属し相変わらずスポーツ一筋の大学生生活をおくっていました。

兄は中央仏教学院一年、そして行信教校三年目と勉強盛り。学校から帰ってくると、その日の授業の話や父の話などいろいろと話してくれました。しかし部



活ばかりして授業もろくにでない僕にとっては困るだけでした。「ふーん、すごいねー、」なんて言いながら心の中では「兄よそんな一人で先にいかないでくれ」とさげんでいました。父はよく「兄弟としてライバル」といっていましたが、本当はその通りです。弟とはいえやっぱ兄に先を越されるときやしいし腹もたつ。「兄に負けるか」そう思うようになってから徐々に学校の授業にも身が入るようになり、大学での講演

会や法話会などにも顔をだすようになりました。兄との二人ぐらし、今思うと大きな節目だったと思います。少しは勉強しはじめたところへ今度はいやでもしなければならなくなったのが卒論です。論文、テストとノイローゼ状態になりましたがこんなに勉強したのは生れてはじめてかも知れません。でもこんなに真宗づけになったのは我ながらすごいことだと驚いています。まだまだ知らないことばかりですが、

とても真宗にひかれるものがあるのです。兄はこの春からいよいよ住職として浦山に帰ってきます。みなさん楽しみにしていてください。善巧寺をいつそう盛り上げようとがんばるはずですよ。若き住職を応援してあげてください。僕の方も四月から兄、そして父が学んだ行信教校に入学します。行信教校は善巧寺の住職だった明教院さんの法脈が今なお、脈々と受け継がれている学校です。「そこで勉強しないでいつやるんだ教隆よ」そういういきかせてがんばりますので善巧寺の次男坊もお忘れなく。(教隆)

平成8年善巧寺一般会計決算報告

		(単位:円)
		(決算)
(収入)	(予算)	
1. 繰越金	488,938	488,938
2. 布施収入	9,950,000	10,085,400
門徒法要	8,300,000	8,570,000
年中行事	1,200,000	1,004,900
賽銭	400,000	460,500
雑収入	50,000	50,000
3. 会費	4,900,000	4,804,000
雑収入	161,062	200,500
合 計	15,500,000	15,578,838
(支出)	(予算)	(決算)
1. 人件費	7,200,000	6,860,000
2. 運営費	5,600,000	5,687,170
法要	2,250,000	2,214,124
教寺車会	900,000	918,624
接雑	950,000	1,321,661
維持費	1,000,000	842,712
宗営保	200,000	213,710
予備費	200,000	176,339
合 計	100,000	0
3. 維持費	2,300,000	2,479,355
宗営保	1,000,000	963,830
予備費	1,000,000	1,021,941
合 計	300,000	493,584
4. 予備費	400,000	0
合 計	15,500,000	15,026,525
*差 引		+ 552,313

平成9年善巧寺一般会計予算

(収入)		552,313
1. 繰越金		10,000,000
2. 布施収入		8,350,000
門徒法要		1,200,000
年中行事		400,000
賽銭		50,000
雑収入		4,800,000
3. 会費		147,687
雑収入		15,500,000
合 計		
(支出)		
1. 人件費		7,200,000
2. 運営費		4,600,000
法要		1,250,000
教寺車会		900,000
接雑		1,000,000
維持費		900,000
宗営保		200,000
予備費		200,000
合 計		150,000
3. 維持費		2,400,000
宗営保		900,000
予備費		1,000,000
合 計		500,000
4. 予備費		1,300,000
合 計		15,500,000

横浜郊外にて
梅林に 花吹雪して
足とむ
かぐわしき香のみちみちて
梅の里
喜子



寺
こよみ

五月

寺
こよみ

六月

一日 お講・東狐・上野
一〇日 第二十回野休み落語会
一六日 お講・音沢3
一七日 十七夜お経会
二七日 連研・善巧寺本堂

赤ちゃんが生まれたらまずお寺の初参式へ

花の中の初まいり

四月二十七日 午前十時

初参式 縁日

初まいりの赤ちゃん受付中

お申し込み

四月二十日まで

六五〇〇五五

受式懇志 三千円

。正午 前住職・前々住職納骨



第二十回 野休み落語会

六月十日(火)午後七時半



「存じ「六輔七転八倒野休み落語会」

ことはなんと二十回目。

早いものです。

どうぞどうぞおはこびくだ

さい。

お祝いの手ぬぐいさしあげ

ます。

出演 永 六輔、柳家小三治、入船亭扇橋、柳家小のり
ゲスト ものまね 江戸家まねき猫

四月二十七日正午
両住職 納骨

二十世住職俊之法師、二十一世住職隆弘法師の納骨法要を、初まいりのあと正午から行います。

四月十一日

太子会とお花見

時間 午前九時半

法話 宗円寺住職浦田実磨師

お花見 太子会のあと、花見

弁当もつて近在の桜名所をたずねます。



五月二十五日

福井千福寺竣工式

毎月十七日のお経会にご出講

いただいている高務先生のお寺千福寺の門徒会館がいよいよ完成間近。五月二十五日に竣工式をむかえられます。二百人収容のホール、エレベーター、大ざしきと、ため息のするような会館です。是非おまいりいたしましょう。

五月二十八日

専精舎入舎式 次男教隆入舎

翌二十六日、随想欄にはじめて登場の次男坊教隆が四月に行信仏教学院に入学し、五月二十六日には専精舎入舎式をむかえます。古式豊かな専精舎の行事にご縁をいただきます。

五月二十五日午前出発、午後

千福寺参拝常規寺泊

五月二十六日入舎式見学、本

山参拝のあと夜帰院

白鵠会総会開かれる

3/14

善巧寺仏教婦人会白鵠会の総会がさる三月十四日開催されました。今回は役員改選があり、会計・書記を歴任した大藪富美子さん、会計の本波ときあさんのあとを高島祥子さん、野島はつえさんが選任されました。

合 掌

今年には桜の開花が早いとか。心はずむ季節になりました。合格、入学の嬉しい便りをもつて、雪ん子OBGが次々にたずねてくれます。たくさんの方の学んで帰っていらつしやい。いつでも待っています。

五頁に紹介した柝沢明子さんが卒業制作作品をもつてきてくれました。「人を信じること、人を愛すること、お互いを思いあうこと、自分がいて、他人がいて、共に生きていく時に大切なことを雪ん子はいつも問いかけている」そんな作品です。いつか紙上でご紹介を。

「ただ念仏のみぞまことに御はします」

御恩報謝のお念仏をしましうと前住職隆弘法師もいのちをかけてお伝えしました。今、毎週月曜日に劇団の練習にくることもたちがお念仏しています。「聞思して遅慮することなかれ」こどもたちのこの素直さを見習いましょう。負うた子に教えられるのもまた嬉しいご縁です。

